

熊本大学学術リポジトリ

Kumamoto University Repository System

Title	「帝」ナル稱號二就テ：論説
Author(s)	加藤，本四郎
Citation	龍南會雜誌， 8： 2 0 - 2 5
Issue date	1892-06-20
Type	Departmental Bulletin Paper
URL	http://hdl.handle.net/2298/3844
Right	

$$AB = \sqrt{\left\{\frac{4}{5} - \frac{5\sqrt{73}-1}{76 \times 5}\right\}^2 + \left\{\frac{(5\sqrt{73}-1)\sqrt{3}}{76}\right\}^2} = \sqrt{1.38042027} = 1.17493 + \quad \text{ナリ}$$

$$\text{而シテKヲ1トシタル時ノ眞ノ正五角形ノ一邊ハ} \frac{1}{2} \sqrt{10-2\sqrt{5}} = 1.17357 + \quad \text{ナリ}$$

「帝」ナル稱號ニ就テ

加藤本四郎

我國ニ於テハ、「帝」トハ至尊ヲ指シ奉ル稱號ニシテ、「王」ナル稱號ハ、平新王將門ノ僭号ヲ除キテハ、嘗ツテ之ヲ國君ノ意味ニテ用フルコトナカリキ。然レドモ、支那及ヒ西洋諸國ニ於テハ、國君ヲ稱スルニ、或ハ「帝」ト云ヒ、或ハ「王」ト云ヒテ、其區別ハ讀史者ノ注意スベキコトタリ。特ニ中世紀ノ西洋歴史ニ於テハ、「帝」ナル稱号ハ一種特別ノ意味ヲ有シ、往々誤解セラル、ナリ。余モ亦嘗ツテ之ヲ誤解シタリシ一人ナレバ、今此稱号ノ變遷ヲ解キテ、始メテ西史ヲ讀ム人ノ余ノ如キ誤解ニ陥ラザランコトヲ希フ。

先ツ支那ニ於テハ、堯舜ヲバ「帝」ト稱シ、禹以下夏殷周ノ君ヲバ總テ「王」ト稱セリ。舜ハ位ヲ堯ニ受ケ、禹ハ位ヲ舜ニ受ク。而シテ禹獨リ「王」ト稱セシハ何故ナルカ詳アラザレドモ、當時已ニ「王」ハ「帝」ニ劣ルテフ思想アリテ、舜ハ德ヲ以テ大位ニ登リ、禹ハ功ヲ以テ大位ニ登リシニヨリ、禹ノ德舜ニ劣ルガ故ニ、「帝」ト稱スルヲ得ズシテ「王」ト稱セシカ。或ハ當時種族連合ノ政体ニシテ、君主ヲ呼ブニ、各地其稱ヲ異ニシ、偶々堯舜ノ居所ニテハ「帝」ト云ヒ、禹ノ居所ニテハ

「王」ト云ヒタリシチ、撰バシテ全國ノ君トナリシ後モ、其儘、彼レニハ「帝」ト云ヒ此ニハ「王」ト云ヒタリシカ。下リテ春秋ノ時ニ至リテハ、霸者ナルモノ生ジ、兵力ヲ以テ天下ノ實權ヲ握ルニ至リ、隨ヒテ帝道、王道、霸道等ノ語アルニ至レリ。然ラバ當時既ニ「霸」ハ「王」ニ劣リ、「王」ハ「帝」ニ劣ルテフ思想アリシコト明ナリ。然ルニ戰國ノ世ニ及ビ、周室ノ實權全ク地ニ墜チ、七諸侯獨立シテ「王」ト稱シ、天下ニ七人ノ王アルニ至レリ。秦六國ヲ亡シテ天下ヲ一統スルニ及ビ、「王」ナル稱號ハ地方割據ノ君ヲ指スノ感アルヲ以テ、「王」ヨリ優リタル稱號ヲ取リテ乃チ「皇帝」ト稱セリ。爾來今日ニ至ルマデ、支那ノ國君ハ常ニ之ヲ「皇帝」ト云ヘリ。

此「帝」ハ單ニ「王」ニ優リタルモノナリテフ思想ヲ以テ西史ヲ讀ムガ故ニ、我國人ハ往々誤解ニ陷ケルナリ。只我國人ノミナラズ、ハテム氏サヘモ、シャールマンノ「帝」ト稱シタル理由トシテ、是レ當ニ是ニ由リテ以太利ヲ支配センガ爲メノミナラズ、又此稱號ノ神聖ト尊嚴トヲ以テ其配下ノ蠻族ヲ威服セシメンガ爲メナリキト説ケリ。

按ズルニ、諸蠻族ガ羅馬帝國ヲ蹂躪シタル大擾亂ノ後、各々一地方ニ其居チ安ンジタル時ニ當リ「君」ナル思想ニ二様アルヲ見ル。即チ種族ノ君、全天下統一ノ君是ナリ。而シテ或ル區域ノ邦土ニ君タルノ思想ハ後世封建制ノ產物ニシテ、當時ハ實テ之レアラザリキ。蓋シゴッス、フランシス、ロムバルツ、ヴェンデルス、ブルガンディアンズ等ノ種族ハ、皆或ル區域ノ邦土ヲ占領シテ、其地ノ主人タリシニハ相違ナシト雖、彼等ノ土地ヲ占領シタルハ、遑收ノ民ガ

水草ニ富メル沃野ニ暫ク居ヲ占メタルト同シク、一時其地ニ假リノ住居ヲナセルモノナレバ、其社會ハ依然トシテ家長制ノ社會ニシテ、其君長ハ單ニ種族ノ君長タルニ過ヤズ、決シテ邦土ノ君ニテハアラザリキ。即チ夫ノクローヴイス(フランクスノ酋長ニシテゴールヲ征服シタル人)及ビ其子孫ハ皆フランクスノ王ト稱シテ、曾テフランクスノ王トハ稱セザリキ。

然ルニ、茲ニ此名稱ヲ變ズルノ事情コソ出來リケレ。凡テ或ル有力ナル臣族ガ其君家ヲ倒シ之ニ代リテ君トナルトキハ其前朝ノ諸王ノ用井シ稱號ヲ變ゼント欲スルモノナリ。夫ノ秦王政ガ天下ヲ一統シテ後、「王」ナル稱號ヲ變ジテ新ニ「皇帝」ト稱シタルモ其一例ナリトス。然ルニ夫ノナポレオン一世ガフランクスノ王ナリシ「ブルボン」朝ノ後ニ出デ、フランクスノ君トナリシトキハ「エムペロル、オヴ、ジ、フレンチ」即チフランクス人ノ帝ト稱シ、其後ルイ、フィリップガ第二「ブルボン」朝ノ後ヲ受ケテ、フランクス人ノ王ト稱シ、ナポレオン三世ガ再ビフランクス人ノ帝ト稱シタリシトニ於テハ、人民ノ君即チ種族ノ君ナル稱號ヲ以テ邦土ノ君ナル稱號ニ代ヘシト雖、シムレマンノ父ベピンガ「家宰」ノ身ヲ以テ「メロヴィンジャン」朝ヲ纂奪シタル後前朝ノ諸王ノ用井タルフランクスノ王ナル稱號ヲ避ケテ、他ノ稱號ヲ用井ント欲シタリシトニ當リテハ、之レニ代ユベキ稱号ハ、全天下統一ノ君即チ羅馬ノ帝ナル稱號ノ外、之レガ先例タルモノナカリシナリ。所謂「シーザー」若シクハ皆無ナリシナリ。何ントナレバ、前ニ言ヒシ如ク、フランクス國ニ王タルノ思想ハ當時未ダ之レアラザリシヲ以テナリ。然レドモ、ベピンノ勢力ハ只僅カニフランクス

ノ間ニ行ハル、ノミナリシヲ以テ、未ダ俄カニ「帝」ナル稱號ヲ冒スヲ得ズシテ、依然フランクス
ノ王ナル稱號ヲ以テ満足シタリシト雖、其子シャーレマン不世出ノ雄略ヲ以テ、諸方ヲ征服シ、
殆ンド西羅馬帝國ノ舊版圖ノ全体ヲ併有シ、更ニエルベ河上ノ蠻族ヲサヘ服從セシムルニ及ビ
テ、羅馬ノ法王ハ此大王ノ助ケヲ得ンコトヲ欲シ、其頭ニ被ラシムルニ羅馬ノ帝ノ冠ヲ以テシ、
因リテ以テ全天下統一ノ君タラシメタリ。

シャーレマンノ登位ハ歐洲ノ歴史ニ於テ最モ注意スベキ事件ノ一ニシテ、即チ當時ノ人民ハ之
ヲ以テ三百餘年來空位ヲ以テ續ヅキ來リシ羅馬帝國ノ再興ト思ヒシナリ。蓋シ西曆四百七十六
年ニオドーサーガオーガステュラスヲ廢シタリシ時、西羅馬帝國ハ是レガ爲メニ消滅シタリトハ
考ヘラレズシテ、單ニ其帝位ヲ東羅馬ノ帝ニ移シタルモノトセリ。故ニ今シャーレマンハ此名義
上猶ホ存在セル西羅馬帝國ノ帝位ニ即キタルモノト考ヘラレタリキ。只舊帝國ト再興ノ帝國ト
異ル點ハ、前者ニ於テハ羅馬ヲ中心トシテ其實權ハ羅馬人ノ手ニアリシモ、後者ニアリテハ佛蘭
西ヲ中心トシテ、フランクス其實權ヲ握リシコトナリ。斯クシテ全天下統一ノ帝國ハ再興サレタ
リ。是レヨリシャーレマンハ基督教國ノ政權ノ源泉トナリ、其第一ノ職分ハ基督教ヲ守護スルニ
アルコトナリ、而シテ一方ニ於テハ、羅馬法王ハ基督教ノ長トシテ、シャーレマンノ事業ニ宗教ノ
助ケヲ與エ、之ヲシテ神聖的性質ヲ帶ビシメ、以テ帝國ト基督教トノ關係ヲシテ、肉体ト精神ト
ノ如ク兩々相倚リテ、以テ天下統治ノ機關ヲナスニ至レリ。而シテ此教會ト相倚リテ全天下統一

ノ君タルノ思想ハシヤイレマンノ死後、其繼承者ノ常ニ保有セシ所ノモノナリ。ヴェルタジノ條約ニ於テ、彼レノ三人ノ孫、帝國ヲ三分シ、長孫ローゼアー^{ローゼアー}獨リ帝號ヲ稱シタリシガ、其死後日耳曼ノ君チャールス、ジ、フアット此位ニ登リテ再ビ帝國ヲ一統シ、其死後佛蘭西ハ獨立シ、伊太利ハ離反シタリシモ、爾後「帝」ナル稱號ハ其繼承者トシテ日耳曼ノ君トナリタルモノ、有スル所ナリキ。オットー、ジ、グレートガ帝位ニ登ルニ及ビ、教會ノ擾亂ヲ平定シテ、夫ノ神聖羅馬帝國^{ホーロー・ローマン・エムパイア}ヲ建テ、再ビシヤイレマンノ帝國ト教會トヲ結合スルノ規模ヲナセリ。爾後日耳曼帝國ト羅馬加特力教會トハ離ルベカラザルノ關係ヲナシ、今日ニ至ルモ、墺西利ノ帝ハ加特力教會ヲ守護スルノ職分アルモノトセリ。而シテ全天下統一ノ君ナル思想ガ猶ホ永續シタリシコトハ、十二世紀ノ終リニ於テ、日耳曼帝ナルヘンリー第六世ガ佛蘭西王ヲ其配下ノ一諸侯視シ、ユンスタンチノブルヲ滅シテ東西ノ帝國ヲ合併セント企テタルニテモ知ルベシ。

余ハ今讀者ノ注意ヲ東帝國ノ成行キニ轉ゼシメン。抑モ羅馬帝國ノ東西ニ分ル、ヤ、其帝位ハ分タレタルニアラズシテ、理論上ニ於テハ全帝國ヲ統治スルノ君同時ニ二人アリテ、只實際上支配ノ便利ノ爲メニ、各々其一半ノ統治ヲ分擔シタル迄ナリキ。故ニ羅馬ノ東西ニ分レタルハ、我國ノ南北朝、支那ノ二國及ビ南北朝トハ大ヒニ其趣ヲ異ニセリ。夫ノシヤイレマンガ帝冠ヲ戴キシ時ニ於テモ、此思想ハ猶ホ存シタリシヲ以テシヤイレマンハ東羅馬ノ女帝イレネト結婚シテ再ビ兩帝國ヲ合併セントシタリシモ、偶マイレネノ廢セラル、ニ逢フテ果サレリキ。是ニ於テ東西

ノ兩帝國、永ク互ニ分離シ了セリ。而シテ十一世紀ノ中頃、「グリーキ」教會ガ羅馬加特力教會ヨリ分離シテ別ニ一宗ヲナシ、後ハ、西帝國ガ加特力教會ニ於ケルガ如ク、東帝國ハ「グリーキ」教會ノ守護者タルヲ以テ其職分トナスニ至レリ。其後一千四百五十四年、東帝國ガ土耳其ノ爲メニ滅サル、ヤ、最後ノ帝コンスタンティンノ姪ソフィア、パレィオロィガスハ魯西亞王イーヴン、ジ、グレートニ嫁シ居リシカバ、イーヴンハ東帝國ノ二頭龍ノ旗章ヲ取リテ、自ラ東羅馬帝ノ繼承者ト稱シタリ。Czarノ名是ヨリ起ル。蓋シCzarハ「Tsar」ナル語ノ「スラヴォニク」語ニ入リテ變化シタルモノナリ。而シテ爾來魯西亞ノ帝ハ「グリーキ」教會ノ守護者ナル職分ヲ生ゼリ。是ニ由リテ之ヲ觀レバ、西史ノ中世紀ニ於テハ、「帝」ナル稱號ニ就テ、左ノ性質アルヲ知ルベシ。

一、全天下統一ノ君タルコト。

一、教會ノ守護者タルコト。

一、此稱號ヲ用非ルモノハ日耳曼ノ君ト魯西亞ノ君トニ限ルコト。

少クトモナポレオン一世ノ大擾亂ニ至ルマデハ、名義上斯ノ如キ關係ヲ以テ「帝」ナル稱號ハ歐洲ノ歷史上ニ顯ハル、ナリ。

日本刀ヲ論ズ

安東俊明

今ニ及ンデ日本刀ヲ取り來リ之ヲ論セントス、世或ハ之ヲ笑フ者アラン、笑フモノ汝ノ笑ニ任